

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

自治体名	山形県南陽市
自治体の概要 主な特色 PRポイント	<p>山形県の南部に位置する人口3万人のまち。古くから県南地方の交通の要衝として栄えてきました。</p> <p>“南陽”という名前からは“ぼかぼかとした温かさ”が連想されますが、周辺を山々に囲まれた盆地気候。夏は極めて暑く冬はとことん寒い（おまけにドカっ！と雪が降る）。・・・なんとも 四季に素直な暮らしがここにはあります。</p> <p>山形新幹線つばさで東京から2時間20分。ひとたび赤湯駅に降り立てば 温泉、くだもの、地酒に地ワイン、スカイスポーツ、伝統と民話、さらに世界一のコンサートホールで繰り広げられるエンターテインメント。・・・そして、ラーメン、らーめん、拉麺！！</p> <p>どこにでもありそうな小さな田舎町には、ここでしかできない体験が満ち溢れています。冒頭の“ぼかぼかとした温かさ”、これは現地の人との触合いの中で存分に感じていただけるはず。つながり つどう 縁結ぶまち、南陽市 ―― ここはそういうまちなのです。</p>  <p>港区全国連携自治体ワーケーション促進事業では、事業初年の令和5年度に4社・9人を受入、多種多様な時間を過ごしていただきました。レポートは本市公式サイトに掲載しています、ぜひご覧ください。 http://www.city.nanyo.yamagata.jp/kikaku/5301 ※ 予定をぎっしり詰め込むのはお勧めしません。「その場で決める」ための余裕あるスケジュールの方がスムーズで充実した活動ができます。事前手配を要するものは市担当者と調整してください。</p>
アクセス方法	山形新幹線つばさ 東京 → 赤湯（2時間20分）
主な地域課題	<p>人口減少はあらゆる側面に影響を及ぼしています。持続可能なまちづくりを進めるには、新たな人・企業とのつながりや業種や地域を越えたパートナーシップ構築が必要です。</p> <p>ワーケーションプログラムの一つ「ワイン産業」の分野では、原料葡萄の栽培者の高齢化・担い手不足・耕作放棄の増加が顕在化しています。山形県における葡萄栽培発祥の地であり、ワイナリー6社が集積するワイン産地としてのブランディング・情報発信をどう進めるかが課題となっています。</p>  <p>また、交通の要衝という利点を持つ一方、本市はマイカー依存度が極度に高い地域。超高齢社会を見据えたとき、目の粗い公共交通網の改善を図ることは重要です。交通のDX化・GX化も進んでおらず、ワーケーション参加者も体感いただくこととなります。</p> <p>厳しい財政状況を踏まえ、包括連携協定や企業版ふるさと納税などによりあらゆる分野で官民連携を構築・加速させていくのがワーケーションを受入する目的でもあります。</p>
受入時期	令和6年9月20日（金）から11月19日（火）まで2カ月間 *希望するプログラムに応じますので上記期間は目安です。

NANYO CITY WOR'CK'ATION PROGRAM 2024

風が吹けば 何屋が儲かる？

VUCAを謳歌するアイデア創発ワークショップ

BASED IN 赤湯温泉 / 山形県南陽市

ワークショップ
プログラム内容

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。

□ 人生観変わるかも！？スカイスポーツ



インストラクターとのタンデムフライトが体験できます。天候の影響が大きいので、いい風が吹くまでリモートで仕事をしながらお待ちください。

□ やっぱり畑だと思う。ワイン造り体験



自分で葡萄を選果・収穫し、オリジナルワインをつくることができます。葡萄の糖度がのってくる晩秋に赤ワインをつくるのがオススメです。

□ どこでも仕事できる・・・の最新線開拓



快適なコワーキングスペースもありますが、森林や湖、畑に寺にローカル列車など・・・リモートワークスポットを開拓する旅もいかがでしょうか。

□ 温泉街の朝を満喫！非日常の朝時間。



赤湯温泉の朝の過ごし方を御案内。雲海を眺めながら珈琲を。また、朝霧に包まれた公園をトレッキング・・・ひらめき直前のリラックスタイムを。

□ まちをあげて胃袋をつかみにいきます



どこのラーメンがおいしいか・・・答えがないことはハシゴしてもらえば分かるはず。また、四季に素直な旬の食材もぜひ御賞味くださいませ。

□ 他のまちにも 足を伸ばしてみては？



交通の要衝として赤湯温泉はアクセスがいいのであちこちを巡ってみてください！山形のローカル鉄道・フラワー長井線の旅、これ 神推し です。

※株式会社ゼロック様、JX金属株式会社様、株式会社村松仙翁様、株式会社CosmoLink様（令和5年度にワークショップに御参加いただいた4社 / 受入順に記載）の記録写真をイメージとして掲載しております。

主な対象事業者

業種は問いません。
テーマに掲げるVUCAを謳歌するためには、首都圏企業と地方自治体との思いもよらぬ連携が起爆剤となる可能性もあります。現地での経験や地域課題に即した新たな事業提案も歓迎いたします。（留意事項欄に補足を記載）

受入上限数

最大12社、また参加企業1社当たり最大4人までとします。

事業者に期待すること

体験を通じて感じたことや出会った風景等はぜひ広く発信していただくとともに、ワークショップ中の様子については写真や動画を撮影し、本市の情報発信にも活用させていただきたいです。ビジネスだけに偏らずに、心身のリフレッシュや観光アクティビティに加え、「何もしない・何も考えない時間」も愉しんでいただきたいと思います。

留意事項

スカイスポーツや農作業など自然の中でのアクティビティがありますので、防寒対策と動きやすい服装で参加いただくことをお勧めします。また、アルコールの提供を想定しているため20歳未満の方の参加は御遠慮ください。
また、本市に対して予算執行を伴う事業提案をいただける場合は、次年度予算の編成スケジュールを踏まえ令和6年10月21日（月）まで必要書類等を提出願います。なお、提案された事業の実施を保証するものではありませんので御了承ください。